

华南理工大学  
2018 年攻读硕士学位研究生入学考试试卷

(试卷上做答无效, 请在答题纸上做答, 试后本卷必须与答题纸一同交回)

科目名称: 日语综合水平测试

适用专业: 外国语言文学

共 9 页

1. 文字・語彙・文法 (60 点)

問題一、( ) に入れるのに最もよいものを、それぞれ A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(1×10=10 点)

1. 彼はいつも ( ) な発言でマスコミを賑わしている。  
A オルガン      B カテゴリー      C クレーム      D ユニーク
2. テレビの連続ドラマが今週 ( ) した。  
A 終息      B 成就      C 完結      D 静止
3. さんざん苦勞して ( ) の免許を取ることができた。  
A 切望      B 念願      C 志願      D 欲望
4. あの子たちは ( ) としかかったので効き目がない。  
A ひんやり      B うんざり      C やんわり      D しんなり
5. 仕事を始める前に、( ) 計画を立てる必要がある。  
A 濃密な      B 繊細な      C 綿密な      D 零細な
6. 暇だったので、公園を\_\_\_してきました。  
A ずるずる      B くるくる      C ちらちら      D ぶらぶら
7. 二晩徹夜して、\_\_\_課題のレポートを書き上げることができた。  
A どんなに      B なにより      C どうか      D なんだか
8. CD などの工業製品は、大きさや形状などの\_\_\_統一されている。  
A 規制      B 規格      C 規約      D 規律
9. 私は食後の\_\_\_に、いつもアイスクリームを食べます。  
A デッサン      B デコレーション      C デザート      D デリケート
10. 日本語ができ、\_\_\_週 5 日勤務できる方を募集しております。  
A かつ      B それでも      C ゆえに      D かしながら

問題二、次の文の\_\_\_をつけた言葉の\_\_\_の部分は、どのような漢字を書きますか。同じ漢字を使うものを A、B、C、D の中から一つ選びなさい。(1×5=5 点)

1. 貸したお金を返してくれるようさいそくした。  
A たまにはきゅうそくをとることも大切だ。

- B 国際交流のそくしんに努めている。
- C じそく 80 キロでカーブを曲がった。
- D これは単なるすいそくで、事実ではない。
2. はいごから呼びかけられてびっくりした。
- A この絵ははいけいが暗い。
- B その制度は数年前にはいしされた。
- C 彼は私のこうはいだ。
- D 郵便は朝 10 時ごろはいたつされる。
3. そんなにこうふんすると体に悪いよ。
- A 彼は彼女の発言にこうぎした。
- B 会社の業績はこうちょうだ。
- C 大学でのせんこうは経済だった。
- D ここは 5 年前にできたしんこう住宅地だ。
4. こんなことを続けるのは時間のろうひだ。
- A ひろうめあまり寝込んでしまった。
- B 私たちの意見は会議でひけつされた。
- C 先日のパーティーにかかったひようは高すぎた。
- D あの人はいつもひにくを言うので嫌われている。
5. 父は私の海外留学をりょうしょうしてくれた。
- A これは政府のしょうにんを得なければ輸出できない。
- B このビルにはいる時にはみぶんしょうを見せてください。
- C 薬を飲んだら、風邪のしょうじょうがよくなった。
- D この大学では二つ以上の外国語の学習がしょうれいされている。

問題三、次の言葉の使い方として最もよいものを、A、B、C、Dの中から一つ選びなさい。(1×5=5点)

1. いたわる
- A 私は一人暮らしの生活をいたわることができる。
- B 母は私の努力をいたわってくれました。
- C 小野さんは旅行でよくいたわっていました。
- D 子供がお年寄りをいたわる心を身につけるとよく言われます。
2. 潔い
- A 彼は潔く自分の過ちを認めた。
- B 私は潔い料理が気に入っている。
- C 教授は潔い説明をしてくださった。
- D 部屋が汚くて、潔くしよう。
3. 台無し

- A ちょっとした誤算が彼の未来を台無しにしてしまった。
- B 最近、台無しが多いので、仕事が順調に進んだ。
- C 台無しのうちは、早く家へ帰ったほうがいい。
- D 彼の台無しに対して、私は賛成だ。

4. ひとまず

- A 検査の結果は何事もなかったようで、ひとまず安心だ。
- B 今まで努力してきたが、これからもひとまず努力するつもりだ。
- C 今は分からないが、いつかひとまず分かるだろう。
- D 今の實力では、ひとまず相手のチームには勝てません。

5. 満喫

- A 晴れなので、星を満喫することができる。
- B 友達の声を聞くと、気持ちがとても満喫する。
- C 彼らは春の暖かい日ざしを満喫していた。
- D これらの要求を満喫する部屋を探しています。

問題四、次の各分の\_\_\_\_下線を付けた言葉の意味に合うものをそれぞれA、B、C、Dの中から一つ選びなさい。(2×10=20点)

1. 彼はしょうがない女房をもらってしまったといつもこぼしている。  
A ばかを言う      B 喜んで言う      C 文句を言う      D 平気で言う
2. 彼女は私の頼みを二つ返事で引き受けてくれた。  
A 返事を一つすること      B 返事を二つすること  
C すぐ聞き取れること      D すぐ承諾すること
3. 朝から晩まで働いて、それでも夫婦向い合って、明日の米をどうしたものかと、途方に暮れることさえしばしばあった。  
A 行く道がわからなくて、どうしたらいいのかわからなくなること  
B 手段が尽きて、どうしたらいいのかわからなくなること  
C 日が暮れて、どうしたらいいのかわからなくなること  
D 中途半端で、どうしたらいいのかわからなくなること
4. 彼が大学に合格して見せるなんて臍で茶を沸かすようなことを言っている。  
A おかしくてたまらないこと      B 思いもかけないこと  
C 道理上あるはずがないこと      D 実にすばらしいこと
5. 彼はいつも見えを張って一流品しか身に着けてないが実はロオーンで首が回らない。  
A 注意して見る      B 他人の目を引く  
C 目を大きく開く      D うわべをかざる
6. 何かが気になって、落ち着いた気持ちではいられない。  
A 気が立つ      B 気が引ける      C 気が気でない      D 気が入る

7. その場の雰囲気に合わせていい加減なことをやる。  
 A 察しがつく B 調子がいい C 物分かりがいい D 反応が速い
8. いくら説き聞かせても何の効果もない。  
 A 馬の耳に念仏 B 釈迦に説法 C 語るに落ちる D 言葉に甘える
9. いかに温和で慈悲深い人でも、たびたび無法を加えられれば、しまいには怒り出す。  
 A 三度目は定の目 B 福德の三年目  
 C 仏の顔も三度 D 三度目の正直
10. 一つのこと心に打ち込んで、懸命に頑張る。  
 A. 身を寄せる B. 身を捨てる C. 身を固める D. 身を入れる

**問題五、** 次の文の ( ) に入る言葉はどれか、それぞれ A、B、C、D の中から最も適当なものを一つ選びなさい。(2×10=20点)

1. この情報化時代 ( ) あってパソコンも使えないようでは、これからの社会に対応していけないだろう。  
 A が B で C に D と
2. すぐぎょっとしてあたりを見回したが、自分ひとり ( ) なのに安堵して、いそいそと着物を着かえ始めた。  
 A まで B とか C きり D さえ
3. その夜は父が帰って来る ( ) になっていたので部屋をきれいに掃除しておいた。  
 A わけ B もの C べき D はず
4. 甲：あの会社も倒産 ( )。  
 乙：社長が代わってうまくいかなかったみたいですね。  
 A かのようだ B しそうだとか  
 C するかのように D までもない
5. このお茶はさっきほど入れ ( ) ものです。  
 A たての B つけの C ぬいた D きた
6. 仕事を途中で投げ出すなんて、( ) 無責任な女だ。  
 A よほど B およそ C さほど D いかにも
7. 競争が厳しくなって、成績 ( ) 留年もありうるという。  
 A いかんでは B いかんには C いかんとは D いかんとも
8. 民事賠償の交渉の前提として、たとえ交通事故の加害者の立場 ( ) 交渉ごとの立場は対等であることを主張する。  
 A ではあろう B であり C ではあつて D ではあれ
9. しっかりした構造だから、動きが活発なお子様はもちろん、大人も安心して ( )。

- A お座りになります                      B お座れます  
 C お座りになれます                      D お座りなさいます
10. 先日送っていただいた説明書に間違いがありましたので、(     )。  
 A ご報告いたします                      B お詫びいたします  
 C ご説明になります                      D お謝りいたします

## 2. 読解 (50 点)

**問題六、** 次の文章の (1~10) にはどんな言葉が入るか、後の A、B、C、D から、一番適当なものを一つ選んでください。(2×10=20点)

現在日本人は「入浴」という言葉をよく用いるが、文献によると、入浴という言い方をするようになったのは二十世紀後半に入ってからのもので、古くは「沐浴」(洗髪と洗身)、「湯あみ」近世に入って「入湯」「行水」「銭湯」などという呼び名が現れた。最近では各家庭に浴室があるため、以前各商店街に (1) 存在していたはずの銭湯は、ほとんど姿を消してしまった。(2) 変わるものとして休養、スポーツ、娯楽を中心としたヘルスセンターのような大掛かりな施設が登場し、人々の人々を集めている。(3)、日本人にとって何よりも欠かせないのは「温泉」である。「火山列島」といっても過言ではない日本列島には数え切れない程の温泉が点在している。その中で、最も古くから利用されている温泉には、道後、有馬、牟婁などがある。特に有馬は奈良、京都に近い (4)、七世紀ころから天皇や貴族も保養に訪れ、しばしば入湯していたようである。そのほか別府、雲仙、玉造なども古くから知られている。各地の温泉にはそれぞれ発見者に (5) 伝説などが残されている。江戸中期以降には農民や一般庶民の間にも「湯治」が流行し、江戸に近いところでは、伊香保、草津、熱海、伊豆、箱根、などが多く利用されるようになった。現在は交通網の発達に伴い、各地の温泉場は観光地になって、湯治を兼ねた旅行者いへとライブをしながらひと風呂浴びるのが目的の日帰り族などで年間を通じて (6)。

温泉には泉質、泉温、効能などが表示されており、(7) 那須温泉郷の泉質は単純泉、硫黄泉などで、泉温は 55℃ から 70℃、効能は婦人病、皮膚病、神経痛などとなっている。(8)、伊香保の泉質は炭酸鉄泉、石膏泉で、泉温は 42℃ から 68℃、婦人病、リウマチ、神経痛、貧血症などに効能があるとされている。

泉質によって、透明度がたかたり、茶褐色をしていたり、乳白色のものであったりする、それぞれの効能を見るとよくわかるが、(9) 体が温まって、血液の循環を良好にするというのが温泉の本質的な効果であるといえる。最近では各地の温泉の元と称する粉末が袋詰めで販売されているので、スーパーマーケットなどで手軽に入手できることもあり、各家庭で温泉が楽しめる (10)。

1. (     ) A ごく自然に B 当たり前のよう C ごく必然に D 先祖代々のように

2. ( ) Aそれが Bそれで Cそれに Dそれも  
 3. ( ) Aそこで Bそれで Cしかも Dしかし  
 4. ( ) Aこともあって Bことがあって Cことであって Dことはあって  
 5. ( ) Aあつまる Bしたがう Cまとまる Dまつわる  
 6. ( ) A賑わっている B豊かになっている C通っている D彷徨している  
 7. ( ) Aなかでは B或いは C言えば D例えば  
 8. ( ) Aそして Bそれも Cまた Dでも  
 9. ( ) Aこうして B要するに Cおおよそ D考えると  
 10. ( ) Aことになった Bようになった Cことになろう Dようになろう

**問題七、**次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(3×10=30点)

旅に出ることは日常生活環境を脱けることであり、平生の習慣的な関係から逃れることである。旅の嬉しさはかように解放されることの嬉しさである。殊更解放を求めてするたびでなくても、旅においては誰も何らかの解放された気持ちになるものである。あるものは実に人生から脱出する目的を持ってさえ旅に上るのである。殊更脱出を欲してするたびでなくても、旅においては誰も何らかの脱出に類する気持ちになるものである。旅の対象として人の好んで選ぶものが多くの場合自然であり、人間の生活であっても原始的な、自然的な生活であるというのも、これに関係すると考えることができるであろう。旅におけるかような解放ないし脱出の感情には常にあるほかの感情が伴っている。即ち旅はすべての人に多かれ少なかれ漂泊の感情を抱かせるのである。解放も漂泊であり、脱出も漂泊であり、そこに旅の①感傷がある。

漂泊の感情はある運動の感情であって、旅は移動であることから生ずるといわれるであろう。それは確かにある運動の感情である。けれども我々が旅の漂泊であることを身にしみて感じるのは、車に乗って動いている時ではなく、むしろ宿に落ち着いたときである。漂泊の感情は単なる運動の感情ではない。旅に出ることは日常的習慣的な、したがって安定した関係を脱することであり、そのために生ずる不安から漂泊の感情が湧いてくるのである。旅は何となく不安なものである。

しかるにまた漂泊の感情は遠さの感情なしには考えられないであろう。そして旅は、どのような旅も、遠さを感じさせるものである。この遠さは何キロと図られるような距離に関係していない。毎日遠方から汽車で事務所へ通勤しているものであっても、彼はこの種の遠さを感じないであろう。ところが、たといそれよりも短い距離であっても、一日彼が旅に出るとなると、彼はその遠さを味わうのである。旅の心ははるかであり、このはるかさが旅を旅にするのである。それだから旅において我々は常に多かれ少なかれ浪漫的になる。浪漫的心情というのは遠さの感情にほかならない。旅の面白さの半ばばかようにして想像力の作り出すものである。旅は人生のユートピアであるとさえいうことができるのでであろう。しかしながらたびは

単にははるかなものではない。旅は慌ただしいものである。鞆一つで出かける簡単な旅であっても、旅には旅の慌ただしさがある。汽車に乗るたびに、徒歩で行く旅にも、旅の慌ただしさがあるであろう。旅は常に遠くてしかも常に慌ただしいものである。それだから、そこに漂泊の感情はわいてくる。漂泊の感情は単に遠さの感情ではない。遠くて、しかも慌ただしいところから、我々は漂泊を感じるのである。遠いと定まっているものなら、なにゆえに慌ただしくする必要があるのであろうか。それは遠いものでなくて近いものであるかもしれない。いや、旅は常に遠くて同時に常に近いものである。そして、これは旅が過程であるということを意味するのであろう。旅は過程であるゆえに漂泊である。出発点が旅であるのではない。到着点が旅であるのでもない。旅は絶えず過程である。ただ目的地に着くことをのみ問題にして、途中を味わうことができないものは、旅の真の面白さを知らぬものといわれるのである。

日常生活において我々は常に主として到達点を、結果をのみ問題にしている、これが行動とか実戦とかいうものの本性である。しかるに旅は本質的に観想的である。たびにおいて我々は常に見る人である。②平生の実践の生活から脱けだして純粋に観想的になりうるということが旅の特色である。旅が人生に対して有する意義もそこから考えることができるであろう。

1. この文章の第一段落をさらに二節に分けるとすれば、どこで分けるのが最も適当か、次の A、B、C、D の中から一つ選びなさい。( )

- A 「旅の対象として…」の前
- B 「旅におけるかような…」の前
- C 「即ち旅はすべて…」の前
- D 「解放も漂泊であり…」の前

2～3 第二段落を、さらに細かく三節に分けるとすれば、2 その第二節の初めの部分はどこか、また、3 第三節の初めの部分はどこか、それぞれ次の A、B、C、D の中から最も適当なものを一つ選びなさい。( )

- 2. A それは確かに… B けれども我々が…  
C 漂泊の感情は… D 旅に出ることは… ( )
- 3. A けれども我々が… B 漂泊の感情は…  
C 旅に出ることは D 旅は何となく ( )

4. 第二段落の内容を最もよく示している一文を選んでください。( )

- A 漂泊の感情は単なる運動の感情ではない。
- B しかるにまた漂泊の感情は遠さの感情なしには考えられないであろう。
- C 漂泊の感情はある運動の感情であって、旅は移動であることから生ずるといわれるであろう。
- D 旅に出ることは日常の習慣的な、したがって安定した関係を脱すること

あり、そのために生ずる不安から漂泊の感情が沸いてくるのである。

5. 第三段落を二節に分けるとしたら、「……我々が…漂泊を感じるのである。」までは第一節になるが、その第一節の内容を最もよく示している一文を選びなさい。( )
- A 旅は慌ただしいものである。
  - B 漂泊の感情は単に遠さの感情ではない。
  - C 旅の心ははるかであり、このはるかさが旅を旅にするのである。
  - D 遠くて、しかも慌ただしいところから、我々は漂泊を感じるのである。
6. 第三段落を二節に分けた、その第二節の内容をもっともよく示している一文を選びなさい。( )
- A 旅は過程であるゆえに漂泊である。
  - B いや、旅は常に遠くて同時に常に近いものである。
  - C 出発点が旅であるのではない、到着点が旅であるのでもない、旅は絶えず過程である。
  - D ただ目的地に着くことをのみ問題にして、途中を味わうことができないものは、旅の真の面白さを知らぬものといわれるのである。
7. 第四段落の内容をもっともよく示している一文を選びなさい。( )
- A しかるに旅は本質てきに観想的である。
  - B 旅が人生に対して有する意義もそこから考えることができるであろう
  - C 平生の実践の生活から脱けだして純粋に観想的になりうるということが旅の特色である。
  - D 日常生活において我々は常に主として到達点を、結果をのみ問題にしている、これが行動とか実戦とかいうものの本性である。
8. 下線部①感傷に最も近い意味の語を選んでください。( )
- A 郷愁      B 悲愁      C 哀愁      D 幽愁
9. 下線部の②平生の実践の生活と、この文章の論旨の上で反対の意味を持つものを選んでください。( )
- A 平生習慣的な関係
  - B 原始的な、自然的な生活
  - C 到達や結果をのみ問題にする生活
  - D 日常の習慣的な、したがって安定した関係
10. この文章全体において、筆者がもっとも力点を置いている問題を次から一つ選んで、ください。( )
- A 旅における漂泊の感情
  - B 旅における日常性からの脱出
  - C 旅の浪漫的な性格
  - D 旅の純粋に観想的な性格



### 3. 翻訳 (40点)

問題八、次の中国語を日本語に訳し、その訳文を解答用紙に書きなさい。(20点)

怀石料理是最具有代表性的日本料理之一，原本是进行茶道时准备的日式套餐。它的工艺十分讲究，因此品尝怀石料理同时也是一种艺术的享受。怀石料理的原料由于季节和地域的不同而不同，所以正宗的怀石料理价格不菲。尽管如此许多日本人不远千里，花费时间品尝各地的特色怀石料理。

怀石料理的用料一定新鲜，它的味道不在于添加的香料，而是食物自身的味道。通过艺术加工，保持食物原料的自然色泽以取得更好的视觉效果。怀石料理店为了追求自然美，在店内配上人造的假山流水、绘画插花等宜人的背景，来烘托使用怀石料理时愉悦的气氛。

問題九、次の日本語を中国語に訳し、その訳文を解答用紙に書きなさい。(20点)

旅に出ることは日常生活環境を脱けることであり、平生の習慣的な関係から逃れることである。旅の嬉しさはかように解放されることの嬉しさである。殊更解放を求めてするたびでなくても、旅においては誰も何らかの解放された気持ちになるものである。あるものは実に人生から脱出する目的を持ってさえ旅に上るのである。殊更脱出を欲してするたびでなくても、旅においては誰も何らかの脱出に類する気持ちになるものである。旅の対象として人の好んで選ぶものが多くの場合自然であり、人間の生活であっても原始的な、自然的な生活であるというのも、これに関係すると思われることができるであろう。旅におけるかような解放ないし脱出の感情には常にあるほかの感情が伴っている。即ち旅はすべての人に多かれ少なかれ漂泊の感情を抱かせるのである。解放も漂泊であり、脱出も漂泊であり、そこに旅の①感傷がある。